

令和5年度広島県青少年のインターネット利用状況調査結果について

1 要旨・目的

令和5年度の調査を実施したので、その結果について報告する。

2 現状・背景

青少年及び保護者のインターネット利用状況について把握し、青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境づくりに向けた取組の参考とするため、令和2年度から実施している。

3 概要

(1) 調査対象

満10歳から満17歳までの青少年の保護者 489人

※青少年への調査項目は、保護者が本人から聞き取り回答

(2) 調査期間

令和5年6月2日から6月3日

(3) 調査方法

インターネットを利用したアンケート調査

(4) 調査結果

項目	R2～5傾向	R5	R4	R3	R2	摘要 (数値はR5)
①インターネット利用率	増加傾向 (9割程度)	94.1%	92.3%	92.4%	90.7%	小学生 90.6% 中学生 95.8% 高校生 95.7%
②インターネット利用機器 (スマートフォンの割合)	増加傾向 ※R2→R5 8.7ポイント増	58.5%	59.3%	56.0%	49.8%	
③-1 青少年専用 スマートフォン利用率 (全体)	小・中学生が 増加傾向 ※R2→R5	88.7%	88.7%	79.6%	83.3%	
③-2 青少年専用 スマートフォン利用率 (学校種別)	小学12.4ポイント増 中学10.3ポイント増	55.6% 90.6% 98.5%	63.8% 89.7% 98.5%	45.0% 82.4% 93.4%	43.2% 80.3% 100%	上段：小学生 中段：中学生 下段：高校生
④インターネット適正利用に 関する学習経験がある割合 (青少年・保護者)	青少年・保護者： 横ばい (5割程度)	49.1% 50.7%	46.6% 46.4%	52.1% 49.3%	49.8% 51.7%	上段：青少年 下段：保護者
⑤インターネット利用のルール を決めている割合 (保護者)	横ばい (6割程度)	63.5%	65.8%	67.3%	65.6%	小学生 80.0% 中学生 63.5% 高校生 48.1%
⑥フィルタリング認知度 (保護者)	「知っていた」と「なんとなく知っていた」を合わせると9割前後で推移 ※R2→R5 「知っていた」は 8.4ポイント減	87.3% 37.6% 49.7%	89.6% 43.8% 45.8%	89.4% 48.5% 40.9%	91.0% 46.0% 45.0%	上段：中段と下段の合計 中段：「知っていた」 下段：「なんとなく知っていた」
⑦フィルタリング利用率 (スマートフォン)	横ばい (3割程度)	30.8%	30.2%	29.2%	33.0%	

(5) 課題分析

ア スマートフォン利用の増加及び利用の低年齢化に対し、学習経験が不足

青少年専用のスマートフォン利用率の割合が小中学生で増加しており、スマートフォン利用の低年齢化が伺える。

一方で、インターネット適正利用に関する学習経験のある青少年、保護者の割合は約5割にとどまり、約半数の青少年及び保護者が利用のルールや危険性を学ばないままインターネットを利用している。

イ フィルタリング利用率は横ばい

○ フィルタリング認知度のうち「知っていた」の割合は4年間で8.4ポイント減少し、フィルタリング利用率は4年間3割前後で横ばいである。フィルタリングについての十分な知識がないため、利用していない状況が考えられる。

○ フィルタリングを利用していない理由として、「子供を信用している」が最も高いが、子供が使いたいサービスやアプリが制限されることや、設定の複雑さも高くなっており、フィルタリングの重要性の周知とあわせて、カスタマイズ機能の利用の促進も重要である。

○ 通信業者へのヒアリングでは、契約時のフィルタリング加入率は約7割～8割と高いことから、加入後の解約が多いと推測される。今後、解約理由の調査等を行い、対策を検討する。

(6) 今後の対応

学習機会を提供し、インターネットの適正な利用について啓発を行うとともに、フィルタリング利用の促進を図る。

ア 青少年・保護者向け啓発資料の配付（毎年4月）

青少年、保護者のインターネット利用に関する啓発や学習の機会は、「学校・保育所・幼稚園等」の割合が最も高いことから、教育委員会及び県警の出前講座や当課から送付する啓発資料により学習の機会を確保する。なお、小学校4年生を対象にした啓発資料については、令和4年度に家庭でインターネット利用のルールを話し合えるように改訂した。

イ 保護者等に向けたインターネット利用講座の開催（令和3年度から開始）

令和4年度より中国総合通信局及び広島市と共催で開催し、これまでの保護者に加えて、教育関係者、インストラクター等にも対象を拡大した。

今年度も、インターネットの危険性に関する理解を深め、トラブル発生時の対応や防止策を学ぶ講座を開催し、保護者等のスキルアップを目指す。

ウ フィルタリングの取組強化のため、条例改正を検討

フィルタリング利用の更なる促進と啓発、取組強化のため、青少年健全育成条例におけるフィルタリング規制について、改正の検討を進める。

4 その他

県ホームページ「令和5年度広島県青少年のインターネット利用状況調査結果」

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/seisyounen-kennzennikusei/internet-research-r5.html>

令和5年度 広島県青少年の インターネット利用状況調査【結果】

令和5年10月
広島県 環境県民局 県民活動課

目次

調査概要	2
1 青少年のインターネット利用状況	
(1) インターネット利用率・利用機器	3
(2) 機器の専用・共用	4
(3) 利用内容	5
(4) 利用時間	6
2 インターネット利用に関する家庭のルールの有無	7
3 子供のインターネット利用に関する保護者の取組	8
4 インターネット適正利用に関する啓発や学習の経験	
(1) 青少年	9
(2) 保護者	10
5 フィルタリングについて	11

調査概要

1 調査目的

青少年及び保護者のインターネット利用状況について把握し、青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境づくりに向けた取組の参考にする。（「青少年」とは、満10歳から満17歳にある者をさし、その保護者を「保護者」と表記する。）

2 調査期間

令和5年6月2日～6月3日

3 調査方法

インターネットを利用してのアンケート調査

4 調査対象

満10歳から満17歳までの青少年の保護者（489人）
※青少年への調査項目は、保護者が本人から聞き取り回答

区分	全体	小学生	中学生	高校生
男	242人	80人	82人	80人
女	247人	80人	84人	83人
計	489人	160人	166人	163人

5 その他

- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのために、百分率の合計が100%にならないことがある。
- (2) 質問文の中に、複数回答が可能な質問があるが、その場合、回答の合計は調査数を上回ることがある。
- (3) 図中の選択枝表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (4) 数表、図表、文中に示すnは、比率算出上の基数（標本数）を表している。
- (5) その他や自由意見については、読みやすさ等を考慮し文章の表現を一部変更し掲載している。

1 (1) 青少年のインターネット利用状況（インターネット利用率、利用機器）

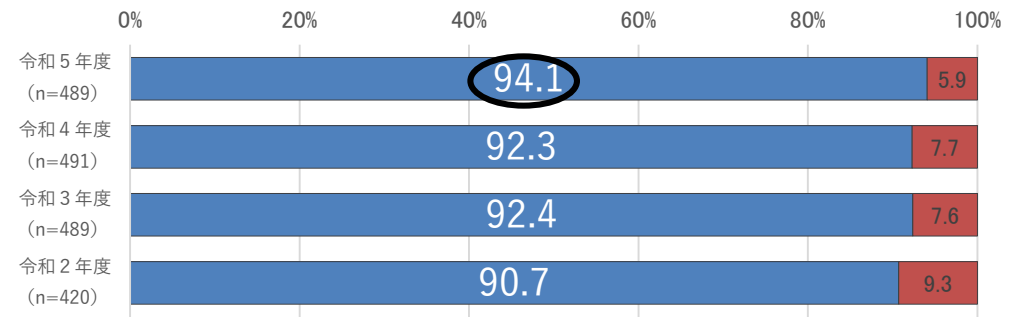
○青少年の94.1%がインターネットを利用していると回答した。[令和4年度：92.3%、+1.8ポイント]
 学校種別では、小学生の90.6%、中学生の95.8%、高校生の95.7%がインターネットを利用していると回答した。

○インターネットを利用する機器は、スマートフォン(58.5%)、自宅用のパソコンやタブレット等（40.9%）学校から配布・指定されたパソコンやタブレット等（36.2%）が上位。

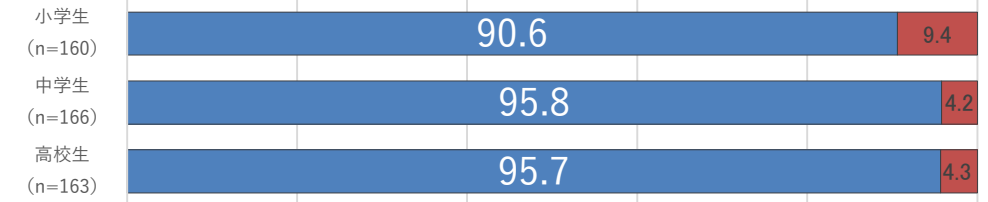
○インターネット利用機器のうちスマートフォン利用率は、小学生(33.1%)、中学生(64.2%)、高校生（87.2%）と学校種が上がるにつれて高くなる。

※インターネット利用率、利用機器は、保護者が子供の状況について回答したものだ

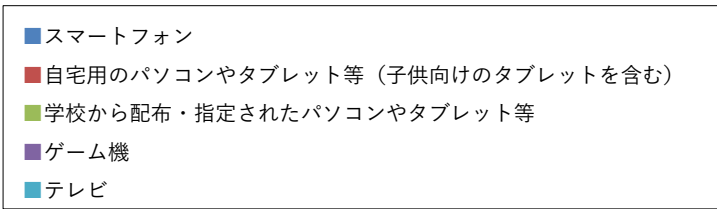
○インターネット利用率



【学校種別（令和5年度）】



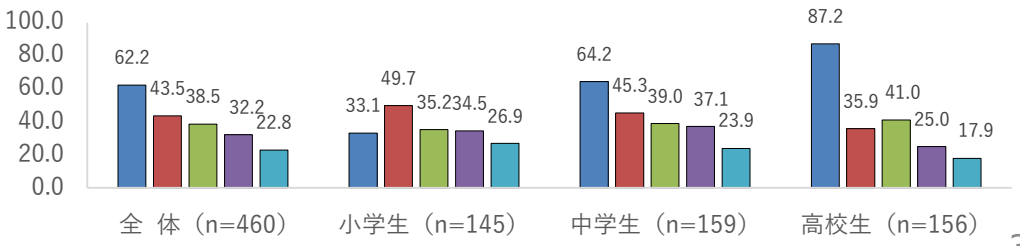
■ インターネットを利用している ■ インターネットを利用していない



○インターネット利用機器

区分	令和5年度 (n=489)	令和4年度 (n=491)	令和3年度 (n=489)	令和2年度 (n=420)
スマートフォン	58.5	59.3	56.0	49.8
自宅用のパソコンやタブレット等	40.9	39.5		
学校から配布・指定されたパソコンやタブレット等	36.2	31.2		
ゲーム機	30.3	28.7	35.0	23.6
テレビ	21.5	19.1		
いわゆる格安スマートフォン	11.9	9.0	9.0	13.6
契約していないスマートフォン	9.4	9.8	11.7	9.5
機能限定スマートフォンや子供向けスマートフォン	1.2	1.0	1.6	2.1
携帯電話	-	2.0	1.6	2.9

【インターネット利用機器（上位5位） 学校種別（令和5年度）】



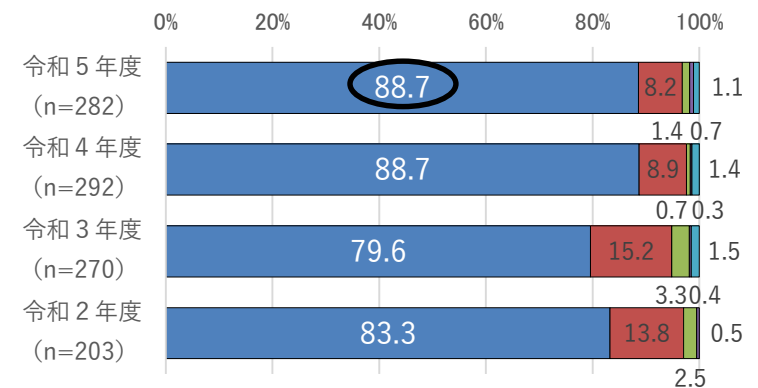
1(2) 青少年のインターネット利用状況（機器の専用・共用）

○インターネットを利用すると回答した青少年は、子供専用のスマートフォンを利用している割合が高く、人数も多い。
 (88.7%、250人 (n=282人)) [令和4年度：88.7%、259人 (n=292人)]
 学校種別では、小学生(55.6%)、中学生(90.6%)、高校生(98.5%)と学校種が上がるにつれて高くなる。

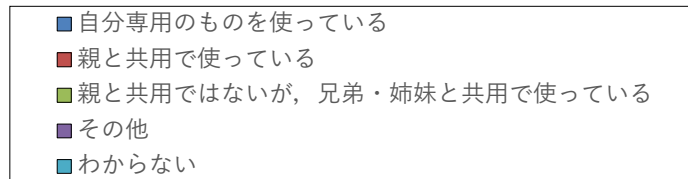
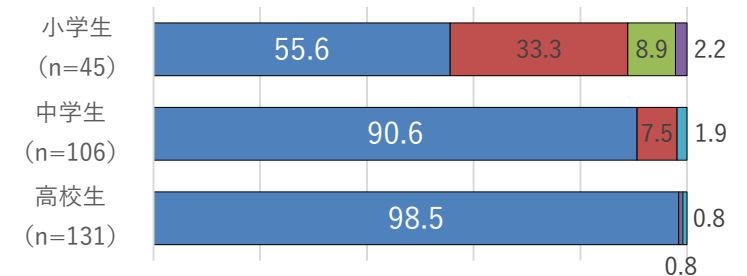
○青少年の各機器の専用・共用（令和5年度）

区分	子供専用	親と共用	兄弟・姉妹と共用	その他	わからない
スマートフォン (n=282)	88.7	8.2	1.4	0.7	1.1
いわゆる格安スマートフォン (n=56)	80.4	14.3	3.6	-	1.8
機能限定スマートフォンや子供向けスマートフォン (n=7)	42.9	42.9	14.3	-	-
契約していないスマートフォン (n=49)	51.0	28.6	20.4	-	-
携帯電話 (n=3)	-	33.3	33.3	-	33.3
自宅用のパソコンやタブレット等 (n=190)	41.1	53.2	5.8	-	-
ゲーム機 (n=138)	48.6	25.4	25.4	0.7	-
テレビ (n=82)	2.4	87.8	7.3	1.2	1.2

○機器の専用・共用（スマートフォン）



【学校種別（令和5年度）】



1(3) 青少年のインターネット利用状況（利用内容）

○インターネットを利用すると回答した青少年の利用内容の内訳は、

「動画を見る」(79.9%)、「ゲームをする」(64.1%)、「検索する」(63.7%)が上位3項目。

[令和4年度：「動画を見る」(80.7%)、「ゲームをする」(64.3%)、「検索する」(61.6%)が上位3項目。]

○青少年のインターネットの利用内容（いずれかの機器・スマートフォン）

区分		投稿や メッセージ交換を する	ニュース をみる	検索する	地図を 使う	音楽を 聴く	動画を 見る	読書を する	マンガを 読む	ゲームを する	買い物を する	勉強を する	撮影や 制作・ 記録を する	その他	
い ず れ か の 機 器	【経年比較】														
	令和5年度 (n=457)	54.3	29.8	63.7	24.3	53.2	79.9	9.8	26.0	64.1	7.9	47.3	16.0	3.5	
	令和4年度 (n=451)	53.2	30.4	61.6	26.2	52.8	80.7	6.2	21.1	64.3	5.1	49.0	17.1	7.1	
	令和3年度 (n=451)	59.2	21.3	40.4	15.1	47.5	68.3			61.9	4.9	37.3		4.2	
	令和2年度 (n=374)	61.2	24.3	46.0	15.0	43.9	70.1			65.8	7.5	46.5		3.2	
	【学校種別（令和5年度）】														
	小学生 (n=143)	21.7	21.0	57.3	13.3	34.3	76.2	10.5	17.5	59.4	6.3	39.2	12.6	1.4	
	中学生 (n=158)	63.9	27.2	60.1	25.9	56.3	79.7	10.1	24.1	70.9	5.7	46.8	18.4	4.4	
	高校生 (n=156)	74.4	40.4	73.1	32.7	67.3	83.3	9.0	35.9	61.5	11.5	55.1	16.7	4.5	
	ス マ ー ト フ ォ ン	【経年比較】													
令和5年度 (n=282)		66.7	29.1	63.1	28.0	59.2	79.1	8.2	29.1	56.7	8.5	26.2	14.5	1.1	
令和4年度 (n=292)		66.1	30.1	60.6	25.7	58.2	77.4	6.2	21.9	56.2	4.8	32.5	14.7	2.7	
令和3年度 (n=270)		72.2	22.2	38.9	17.4	52.6	60.7			49.6	6.3	16.7		0.4	
令和2年度 (n=203)		71.4	26.6	42.9	20.2	52.7	63.5			64.0	8.4	30.5		1.5	
【学校種別（令和5年度）】															
小学生 (n=45)		31.1	20.0	57.8	20.0	40.0	71.1	13.3	15.6	37.8	4.4	15.6	8.9	-	
中学生 (n=106)		72.6	24.5	56.6	25.5	56.6	75.5	4.7	26.4	62.3	5.7	18.9	17.0	0.9	
高校生 (n=131)	74.0	35.9	70.2	32.8	67.9	84.7	9.2	35.9	58.8	12.2	35.9	14.5	1.5		

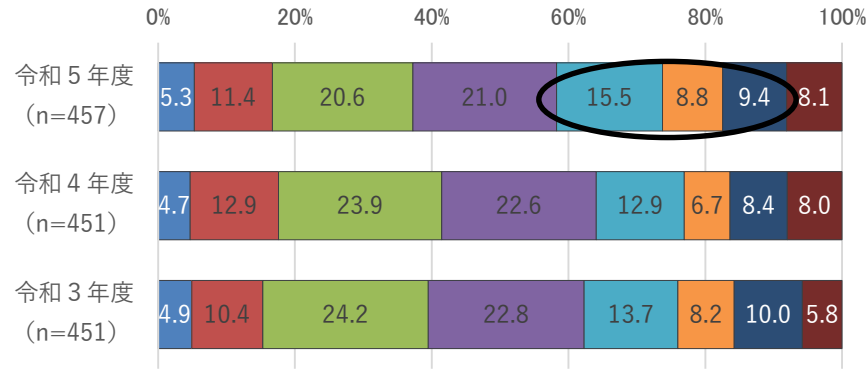
1(4) 青少年のインターネット利用状況（利用時間）

○インターネットを利用すると回答した青少年のなかで、利用時間3時間以上の割合は33.7%。[令和4年度：28.0%、+5.7ポイント]

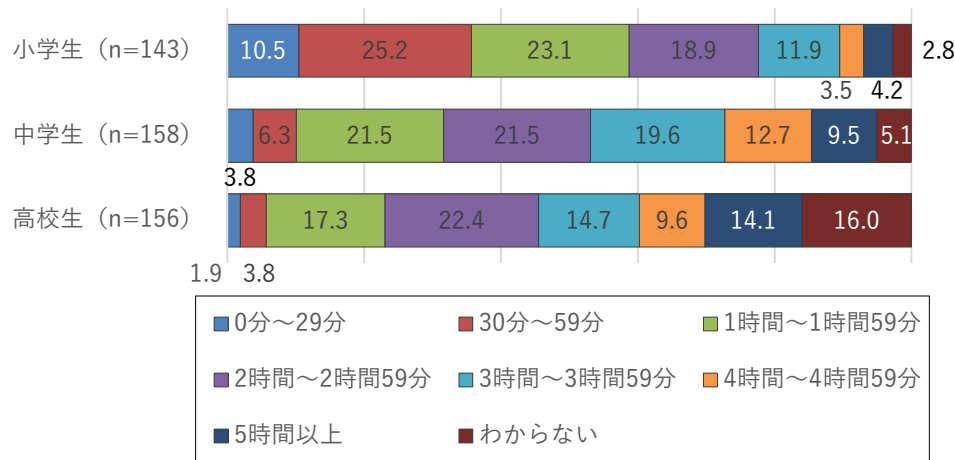
学校種別では、小学生の19.6%、中学生の41.8%、高校生の38.4%と中学生が最も多い。

○目的ごとの利用時間について、2時間以上の利用が「趣味・娯楽」28.2%で最も高い。[令和4年度：21.5%、+6.7ポイント]

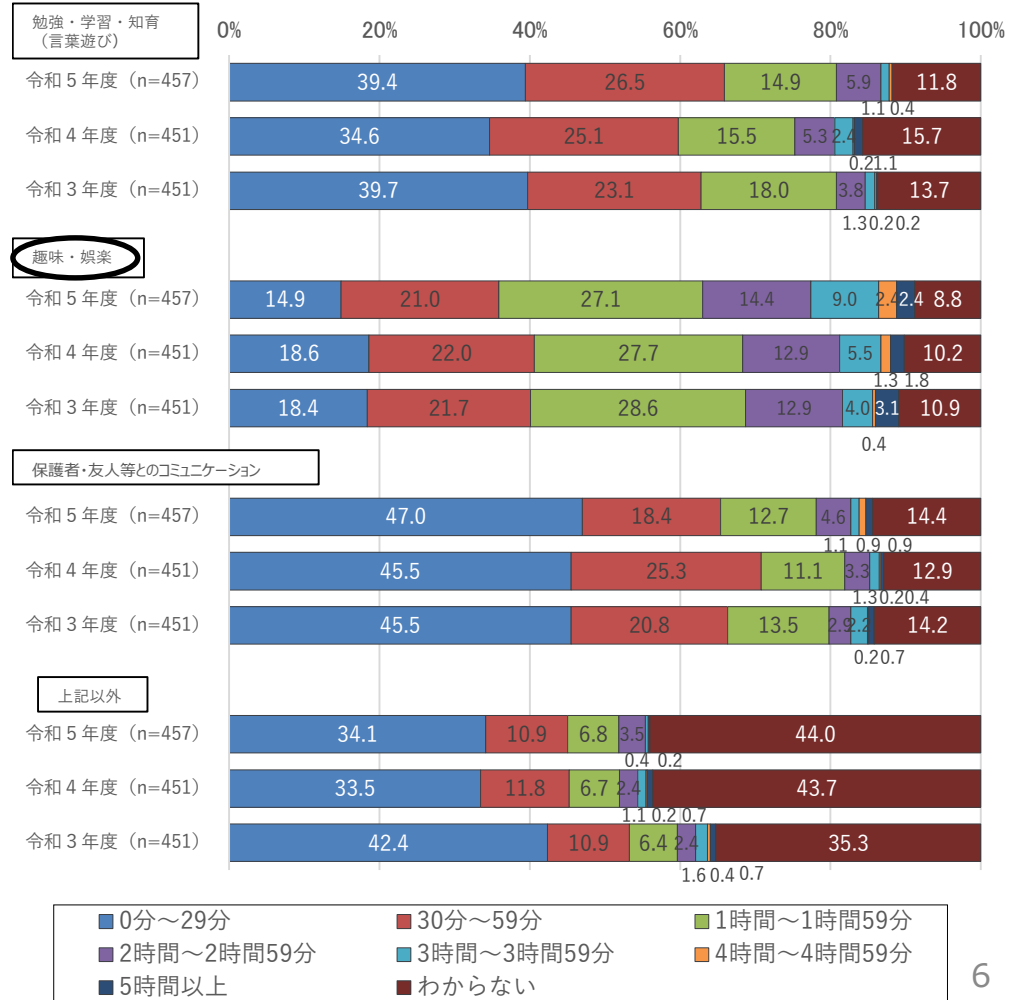
○機器の合計利用時間



【学校種別（令和5年度）】



○目的別利用時間



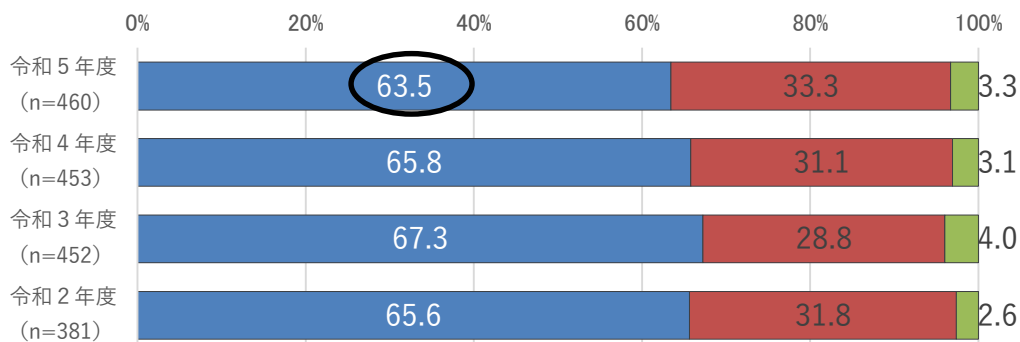
2 インターネット利用に関する家庭のルールの有無

○「ルールを決めている」認識について、保護者（63.5%）と青少年（66.5%）でほとんど差がない。

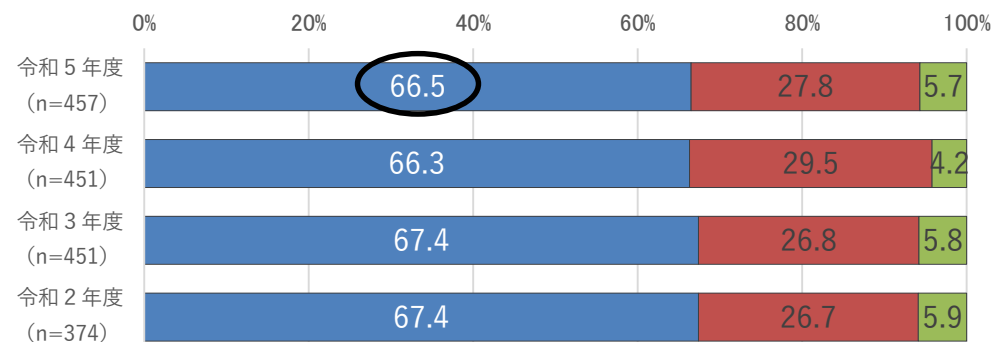
[令和4年度：保護者(65.8%)、青少年(66.3%)]

学校種別では、学校種が上がるにつれて「ルールを決めている」認識が低くなる。

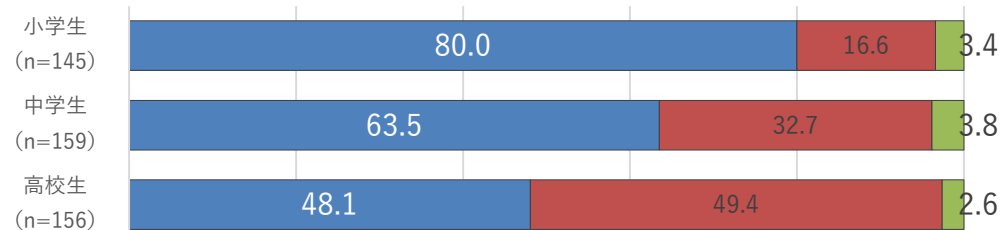
○ルールの有無に関する保護者の認識



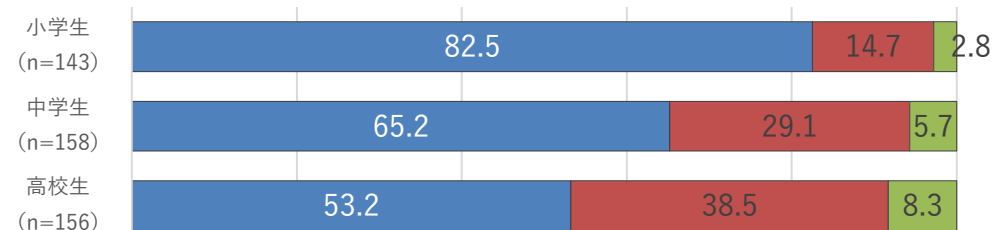
○ルールの有無に関する青少年の認識



【学校種別（令和5年度）】



【学校種別（令和5年度）】



■ルールを決めている ■ルールを決めていない ■わからない

3 子供のインターネット利用に関する保護者の取組

○子供がスマートフォンを利用する青少年の保護者の79.4%が、いずれかの方法で子供のネット利用を管理していると回答。

[令和4年度：76.3%、+3.1ポイント]

○実施している取組は、「利用してもよい時間や場所を決めて使わせている」（41.3%）、「フィルタリングを使っている」（30.8%）が上位。[令和4年度：「利用してもよい時間や場所を決めて使わせている」35.7%、「フィルタリングを使っている」30.2%]

○「フィルタリングを使っている」割合は、30.8%であった。[令和4年度：30.2%、+0.6ポイント]

○「フィルタリングを使っている」割合は、30.8%であった。[令和4年度：30.2%、+0.6ポイント]

○子供のインターネット利用に関する保護者の取組（スマートフォン）

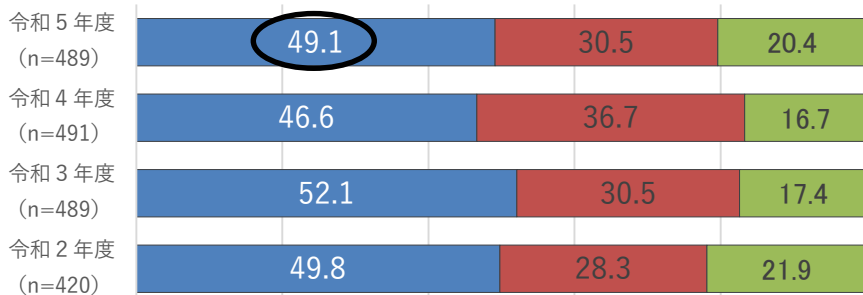
区分	管理している(計)	スマートフォン利用者における管理方法の内訳 ※複数回答可									子供のインターネット利用の管理は行っていない	わからない・無回答
		利用してもよい時間や場所を決めて使わせている	フィルタリングを使っている	対象年齢にあったサービスやアプリを使わせている	何を(内容)どれくらい(時間)使っているか把握している	目の前(画面が見える距離)で使わせている	課金管理等その他の目的で管理を行っている	機器の設定で時間管理している(OS事業者提供サービスを含む)	OS事業者提供サービスを利用してコンテンツ制限を行っている			
【経年比較】												
令和5年度 (n=286)	79.4	41.3	30.8	29.0	18.9	18.5	18.5	10.5	7.0	20.6		
令和4年度 (n=291)	76.3	35.7	30.2	25.8	17.5	19.2	17.2	10.0	4.1	23.7		
令和3年度 (n=274)	81.7	36.9	29.2	18.6	24.8	34.7				15.0	3.3	
令和2年度 (n=209)	77.0	28.2	33.0	13.9	23.0	32.5				21.5	1.4	
【学校種別 (令和5年度)】												
小学生 (n=48)	100.0	68.8	20.8	41.7	35.4	39.6	12.5	16.7	6.3	-		
中学生 (n=102)	81.4	47.1	35.3	30.4	19.6	16.7	17.6	12.7	8.8	18.6		
高校生 (n=136)	70.6	27.2	30.9	23.5	12.5	12.5	21.3	6.6	5.9	29.4		

4(1) インターネット適正利用に関する啓発や学習の経験（青少年）

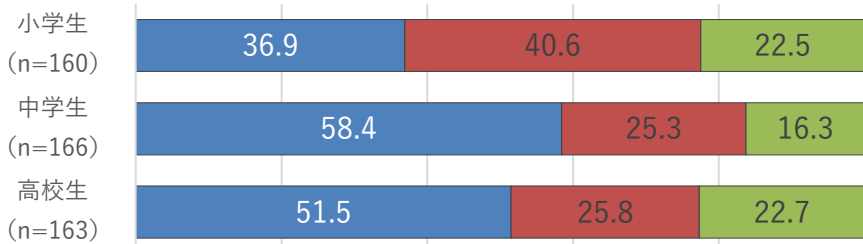
○青少年のインターネット適正利用に関する学習経験は、49.1%。 [令和4年度：46.6%、+2.5ポイント]

○啓発や学習を受けた機会は、「学校・保育所・幼稚園等」（88.8%）が最も多い。[令和4年度：87.8%、+1.0ポイント]

○青少年のインターネット適正利用に関する学習経験の有無



【学校種別（令和5年度）】



■ 学習経験がある ■ 学習経験がない ■ わからない

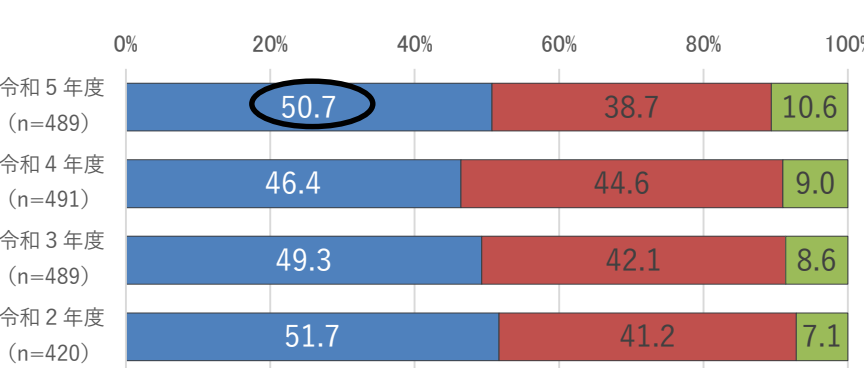
○青少年のインターネット適正利用に関する啓発や学習を受けた機会

区分	学校・保育所・幼稚園等	親（保護者）	友達	インターネット	テレビや本・パンフレットなど	兄弟・姉妹	機器の購入時の販売員	機器の購入時の資料	その他 具体的に	(%)
【経年比較】										
令和5年度 (n=240)	88.8	37.1	11.7	8.8	8.3	4.6	4.6	1.3	0.4	
令和4年度 (n=229)	87.8	41.5	7.0	11.8	9.2	3.1	5.7	2.2	-	
令和3年度 (n=255)	91.4	42.7	7.5	11.4	11.0	3.1	2.4	1.2	-	
令和2年度 (n=209)	88.5	48.3	11.5	11.5	12.4	3.8	6.7	3.8	-	
【学校種別（令和5年度）】										
小学生 (n=59)	86.4	44.1	11.9	5.1	8.5	5.1	1.7	3.4	-	
中学生 (n=97)	86.6	38.1	9.3	10.3	6.2	3.1	6.2	-	1.0	
高校生 (n=84)	92.9	31.0	14.3	9.5	10.7	6.0	4.8	1.2	-	

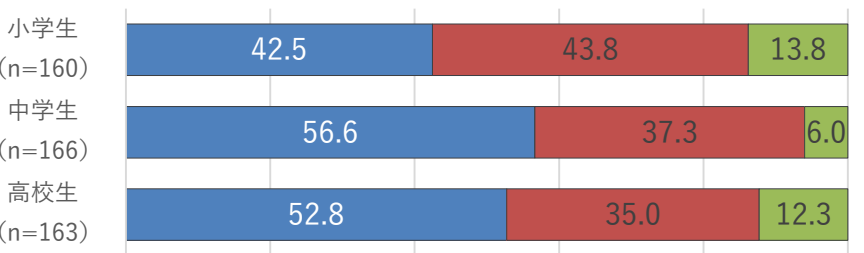
4(2) インターネット適正利用に関する啓発や学習の経験 (保護者)

○保護者のインターネット適正利用に関する学習経験は、50.7%。[令和4年度：46.4%、+4.3ポイント]
 ○啓発や学習を受けた機会としては、「学校や保育所・幼稚園等の保護者会やPTAの会合など」(52.8%)が最も多い。
 [令和4年度：「学校や保育所・幼稚園等の保護者会やPTAの会合など」58.8%で最多、-6.0ポイント]

○保護者自身のインターネット適正利用に関する学習経験の有無 ○保護者自身のインターネット適正利用に関する啓発や学習の経験の機会



【学校種別 (令和5年度)】



■ 学習経験がある ■ 学習経験がない ■ わからない

区分	学校や保育所・幼稚園等の保護者会やPTAの会合など	学校や保育所・幼稚園等から配付された啓発資料など	インターネット	テレビや本・パンフレットなど	保護者同士の会話	保護者自身が生徒・学生の時に、学校等で説明を受けた	友人	機器の購入時の資料	座国・地方公共団体や民間団体が行う講座	機器の購入時の販売員	病院(産科、小児科等)	その他 具体的に
【経年比較】												
令和5年度 (n=248)	52.8	39.5	31.0	25.8	18.1	9.7	9.3	6.5	5.6	3.6	1.6	1.2
令和4年度 (n=228)	58.8	46.5	35.5	30.7	19.3	7.5	8.8	5.7	4.4	7.9	0.9	0.9
令和3年度 (n=241)	56.0	44.8	33.2	31.5	14.9	7.9	7.9	5.8	5.8	5.8	0.4	0.8
令和2年度 (n=217)	59.0	41.5	38.2	27.2	19.8	10.6	13.4	6.5	3.7	8.3	3.2	-
【学校種別 (令和5年度)】												
小学生 (n=68)	36.8	39.7	38.2	33.8	22.1	5.9	11.8	8.8	10.3	2.9	5.9	1.5
中学生 (n=94)	56.4	40.4	28.7	22.3	17.0	9.6	7.4	-	3.2	1.1	-	1.1
高校生 (n=86)	61.6	38.4	27.9	23.3	16.3	12.8	9.3	11.6	4.7	7.0	-	1.2

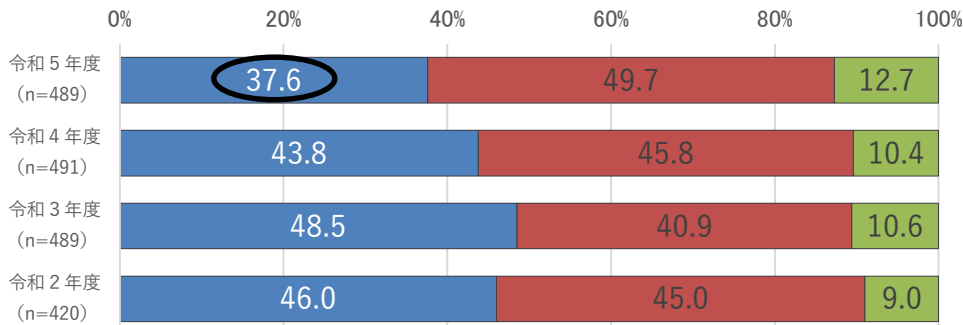
5 フィルタリングについて

○保護者のフィルタリングの認知は、「知っていた」37.6%、「全く知らなかった」12.7%。
 [令和4年度：「知っていた」43.8%、-6.2ポイント、「全く知らなかった」10.4%、+2.3ポイント]

○保護者が、子供の使用するスマートフォンにフィルタリングを利用しない理由は、「インターネットやスマートフォンの使い方について、子供を信用しているから」が48.9%と最も多い。[令和4年度：53.6%、-4.7ポイント]

○フィルタリングの認知度

○フィルタリングを利用していない理由



区分	理由 (%)											
	インターネットやスマートフォンの使い方について、子供を信用しているから	フィルタリングやスマートフォンの使い方について、子供を信用しているから	適切なインターネット利用を管理できると思うから	フィルタリングを利用しなくても、子供の適切なインターネット利用を管理できると思うから	子供が使いやすいサービスやアプリがフィルタリングで制限されていて不便だから	フィルタリングの設定やカスタマイズが難しく、わからないから	フィルタリングを利用しても、解除や迂回する方法があり、効果がないと思うから	フィルタリングの必要性がわからないから	購入時に販売業者から説明を受けなかったから	フィルタリングが何か知らないから	子供にフィルタリング設定をしないよう頼まれたから	フィルタリングの利用にお金がかかると思ったから
【経年比較】												
令和5年度 (n=262)	48.9	25.6	17.9	13.0	8.8	5.0	4.6	4.2	3.1	2.7	0.4	
令和4年度 (n=267)	53.6	28.5	14.2	11.2	8.6	7.1	1.9	5.6	3.4	3.0	1.5	
令和3年度 (n=262)	50.8	31.7	16.8	12.6	11.1	4.6	1.5	5.7	2.7	2.3	5.0	
【学校種別 (令和5年度)】												
小学生 (n=60)	36.7	26.7	28.3	16.7	10.0	6.7	1.7	3.3	6.7	-	-	
中学生 (n=91)	44.0	23.1	14.3	13.2	7.7	5.5	4.4	7.7	3.3	5.5	1.1	
高校生 (n=111)	59.5	27.0	15.3	10.8	9.0	3.6	6.3	1.8	0.9	1.8	-	

■知っていた ■なんとなく知っていた ■まったく知らなかった